

「9年間給食への感謝」

私は小学校からまで9年間の学校生活で給食を食べてきました。小学校のころは、自分が嫌いなものが献立に入っていると、給食より弁当の方がいいと思っていました。でも、中学校に入り、栄養や食について学ぶようになり、給食に関心を持ち始めました。

それから毎日の給食が楽しみで仕方なく、献立表が配られると、自分の好きなメニューのある日を探したりしました。3年生になると、学校での毎日の日記の中に、その日の給食のことを書き続けました。書いているととても楽しく、次の日の給食のことも考えるようになっていました。

しかし、3学期になり、この給食もあと少しで終わることを考えました。私は、好き嫌いもなくなり、毎日の学校生活を楽しく過ごせたのは、給食センターの方々が私達に合った献立を考えてくださり、たくさんの量の給食を作ってくださったからだと思います。

給食のための野菜などを作ってくださる地域の方や、給食費を9年間出してくれた親、そして一緒に食べてきた仲間にも感謝して、残り少ない給食を食べていきたいと思います。